

日本共産党の提案

# 75歳以上高齢者の「人間ドック」に助成を

国民健康保険加入者が「人間ドック」を受けた場合、上限2万円(脳ドックの場合は3万円)を助成する制度がありますが、75歳の誕生日を過ぎると後期高齢者医療保険に移行するため、助成対象から除外されます。

山岡光広議員は、「後期高齢者医療制度ができる以前は75歳以上の高齢者も助成の対象であった。ぜひ復活を。広域連合で実施できないのなら市独自で実施を」と提案しました。

市長は「高齢者は若年者に比べて医療にかかる機会も多くより疾病を早期発見できる環境にある」として助成は考えていないと答えました。

これに山岡議員は「人生100年といわれる時代。高血圧や糖尿病など生活習慣病の治療を受けていても体全体をチェックする人間ドックは大事な予防策、以前の実績を参考にしても2~3百万円の予算で可能。ぜひ実現を」と再度検討するよう求めました。

福井の原発群で苛酷事故が起こった場合、30キロ圏域にある長浜市民の避難先として甲賀市が指定されています。長浜市内の高月町と木ノ本町の一部

(約1万4千人)を受入れる計画になつていますが、詳細は公開されていません。そこで「どの地域の住民がどの地域に避難するのか、いわゆるマッチングが大

事。計画では調整中となっているが具体化されているのか、公開するべき」と質しました。これに市は「スポーツの森など三カ所を一時滞在場所とし、準備が整い次第、市内78カ所の公共施設で避難を受入れる計画」とまでは明らかにしたものの「訓練などは実施できていない」との答



コロナ感染拡大防止のためアクリル板が設置された演台で質問に立つ山岡光広議員(15日)

# 山岡光広議員が一般質問

6月定例議会は6月4日から29日まで開かれました。日本共産党の山岡光広議員は15日の一般質問で、①原発避難マッティング計画、②新型コロナウイルスの安定的供給と接種体制の拡充、③75歳以上高齢者の「人間ドック」への助成を、④ランドセルとランリユック、⑤小児科医療の充実へ医師確保策について、切実な要求実現を迫りました。今議会には山岡議員が提案していた「公文書管理」と「手話言語」に関する条例が提案され可決されました。

新型コロナワクチンについては、接種状況と今後65歳以下接種の見通し、キヤンセル時の対応、ワクチンの有効性と副反応などについても具体的に聞き

ました。このなかで65歳以上高齢者については「7月未までに2回接種が完了する見通し」、集団接種だけではなくかかりつけ医による個別接種については「6月14日時点で6カ所の医療機関」が協力、さらに外出困難な人などに対して「訪問接種」も検討していることを明らかにしました。集団接種で予約のキヤンセルが生じた場合は「優先順位を決めて対応していく」と回答、山岡議員は「子どもとかかわる児童クラブ支援員も対象に」と求めました。有効性については「国から示される情報に注視して迅速かつ的確に対応する」と、副反応については「生じていない」と回答しました。



## 手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例 山岡議員の積極的提案実現

「手話は言語である」と明記した「手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例」が可決されました。施行は10月から。

山岡光広議員が2019年12月議会で早期の条例制定を求めているもので、県内では5番目。同様主旨の条例は全国406の自治体で制定されています。制定後、意識啓発や「手話は言語である」という認識の共有、社会的障壁となっている点のハード面・ソフト面での市の施策が求められます。専任手話通訳者は正規職員で、「電子リレーサービス」の支援策も。

## 公文書等の管理に関する条例

安倍政権(当時)のもとで公文書等の改竄・隠蔽が相次いでいることをふまえ、「公文書等は市民共有の財産(知的資源)」という立場から甲賀市でも公文書等の管理に関する条例を制定すべき、と山岡光広議員が昨年3月議会一般質問で求めていたものです。

条例には「市民共有の知的資源」と位置づけ、「市民が主体的に利用し得る」と知る権利も位置づけられています。

